

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載
 【部門区分】第7部門第3区分
 【発行日】令和3年7月26日(2021.7.26)

【公開番号】特開2020-145682(P2020-145682A)
 【公開日】令和2年9月10日(2020.9.10)
 【年通号数】公開・登録公報2020-037
 【出願番号】特願2020-72718(P2020-72718)
 【国際特許分類】

H 0 4 N 21/44 (2011.01)
 H 0 4 N 5/765 (2006.01)
 H 0 4 N 5/93 (2006.01)
 H 0 4 H 20/95 (2008.01)
 H 0 4 H 60/82 (2008.01)

【F I】

H 0 4 N 21/44
 H 0 4 N 5/765
 H 0 4 N 5/93
 H 0 4 H 20/95
 H 0 4 H 60/82

【手続補正書】

【提出日】令和3年2月8日(2021.2.8)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

所定のコンテンツを再生するための第1信号を第1伝送経路を介して受信する第1受信部と、

前記所定のコンテンツを再生するための第2信号であって、前記第1信号と同期して再生されるべき第2信号を、第2伝送経路を介して受信する第2受信部と、

前記第1信号および前記第2信号に基づき、前記第1信号および/または前記第2信号に含まれる、互いに異なる伝送経路で受信される信号どうしを同期するために用いられる制御情報の少なくとも一部を含まない、前記所定のコンテンツを再生するためのデータを記録媒体に記録する記録手段と、を備える録画装置。

【請求項2】

前記第1受信部からの信号と前記第2受信部からの信号とを同期する同期手段を備え、前記記録手段は、前記同期手段からの出力に基づき、前記データを前記記録媒体に記録する、請求項1に記載の録画装置。

【請求項3】

前記第1信号および前記第2信号は、MPEG-H MMTに準拠しており、前記データは、MPEG2-TSに準拠している、請求項1または2に記載の録画装置。

【請求項4】

前記第1伝送経路は放送であり、前記第2伝送経路は通信であり、前記記録手段は、前記第1信号に含まれる前記制御情報を取り除いて、前記データを記録する、請求項1ないし3のいずれかに記載の録画装置。

【請求項 5】

所定のコンテンツを再生するための、MPEG-H MMTに準拠した第1信号を受信する第1手段と、

前記第1信号に基づいて、前記所定のコンテンツを再生するための、MPEG2-TSに準拠した第2信号を生成する第2手段と、

前記第2信号に基づいて、前記所定のコンテンツを再生するためのデータを記録媒体に記録する記録手段と、を備える録画装置。

【請求項 6】

前記第1信号は、互いに異なる伝送経路で受信される信号どうしを同期するために用いられる制御情報を含んでおり、

前記第2信号は、前記制御情報の少なくとも一部を含まない、請求項5に記載の録画装置。

【請求項 7】

前記第1信号に基づいて前記所定のコンテンツを再生するためのデータを記録媒体に記憶するのに比べて、前記第2信号に基づいて前記所定のコンテンツを再生するためのデータを記録媒体に記憶する方が、データ量が少ない、請求項5または6に記載の録画装置。

【請求項 8】

前記第2手段は、前記第1信号を変換することによって前記第2信号を生成する、請求項5乃至7のいずれかに記載の録画装置。

【請求項 9】

所定のコンテンツを再生するための、MPEG-H MMTに準拠した信号を受信する手段と、

前記信号に基づいて、前記所定のコンテンツを再生するための、MPEG2-TSに準拠したデータを記録媒体に記録する記録手段と、を備える録画装置。

【請求項 10】

前記信号は、互いに異なる伝送経路で受信される信号どうしを同期するために用いられる制御情報を含んでおり、

前記データは、前記制御情報の少なくとも一部を含まない、請求項9に記載の録画装置。

【請求項 11】

コンピュータを、

所定のコンテンツを再生するための第1信号を第1伝送経路を介して受信する手段と、

前記所定のコンテンツを再生するための第2信号であって、前記第1信号と同期して再生されるべき第2信号を、第2伝送経路を介して受信する手段と、

前記第1信号および前記第2信号に基づき、前記第1信号および/または前記第2信号に含まれる、互いに異なる伝送経路で受信される信号どうしを同期するために用いられる制御情報の少なくとも一部を含まない、前記所定のコンテンツを再生するためのデータを記録媒体に記録する手段と、として機能させる録画プログラム。

【請求項 12】

コンピュータを、

所定のコンテンツを再生するための、MPEG-H MMTに準拠した第1信号に基づいて、前記所定のコンテンツを再生するための、MPEG2-TSに準拠した第2信号を生成する手段と、

前記第2信号に基づいて、前記所定のコンテンツを再生するためのデータを記録媒体に記録する手段と、として機能させる録画プログラム。

【請求項 13】

コンピュータを、所定のコンテンツを再生するための、MPEG-H MMTに準拠した信号に基づいて、前記所定のコンテンツを再生するための、MPEG2-TSに準拠したデータを記録媒体に記録する手段として機能させる録画プログラム。

【請求項 14】

所定のコンテンツを再生するための第 1 信号を第 1 伝送経路を介して受信し、

前記所定のコンテンツを再生するための第 2 信号であって、前記第 1 信号と同期して再生されるべき第 2 信号を、第 2 伝送経路を介して受信し、

前記第 1 信号および前記第 2 信号に基づき、前記第 1 信号および / または前記第 2 信号に含まれる、互いに異なる伝送経路で受信される信号どうしを同期するために用いられる制御情報の少なくとも一部を含まない、前記所定のコンテンツを再生するためのデータを記録媒体に記録する録画方法。

【請求項 15】

所定のコンテンツを再生するための、MPEG-H MMT に準拠した第 1 信号を受信し、

前記第 1 信号に基づいて、前記所定のコンテンツを再生するための、MPEG2-TS に準拠した第 2 信号を生成し、

前記第 2 信号に基づいて、前記所定のコンテンツを再生するためのデータを記録媒体に記録する、を備える録画方法。

【請求項 16】

所定のコンテンツを再生するための、MPEG-H MMT に準拠した信号を受信し、

前記信号に基づいて、前記所定のコンテンツを再生するための、MPEG2-TS に準拠したデータを記録媒体に記録する、録画方法。

【請求項 17】

所定のコンテンツを再生するための第 1 信号を受信する第 1 手段と、

前記第 1 信号に基づいて、前記所定のコンテンツを再生するための第 2 信号を生成する第 2 手段と、

前記第 2 信号に基づいて、前記所定のコンテンツを再生するためのデータを記録媒体に記録する第 3 手段と、を備え、

前記第 1 信号は、互いに異なる伝送経路で受信される信号どうしを同期するために用いられる制御情報を含んでおり、

前記第 2 信号は、前記制御情報の少なくとも一部を含まない、録画装置。

【請求項 18】

前記記録手段は、前記第 1 信号および / または前記第 2 信号に含まれる前記制御情報を取り除いて、前記データを記録する、請求項 1 乃至 3 のいずれかに記載の録画装置。

【請求項 19】

前記データは、前記制御情報を含まない、請求項 1 乃至 10、17 および 18 のいずれかに記載の録画装置。

【請求項 20】

前記第 2 信号は、前記制御情報を含まない、請求項 6 に記載の録画装置。

【請求項 21】

前記第 1 信号は、映像信号または音声信号であり、

前記第 2 信号は、映像信号または音声信号であり、

前記記録手段は、前記第 1 信号に基づく映像または音声と、前記第 2 信号に基づく映像または音声と、が同期された状態で前記データを記録する、請求項 1 乃至 10 および 17 乃至 20 のいずれかに記載の録画装置。

【請求項 22】

前記第 1 信号は、映像信号であり、

前記第 2 信号は、音声信号であり、

前記記録手段は、前記第 1 信号に基づく映像と、前記第 2 信号に基づく音声と、が同期された状態で前記データを記録する、請求項 1 乃至 10 および 17 乃至 20 のいずれかに記載の録画装置。

【請求項 23】

前記第 1 信号は、ある視点からの映像を示す映像信号であり、

前記第 2 信号は、他の視点からの映像を示す映像信号であり、

前記記録手段は、前記第1信号に基づく映像と、前記第2信号に基づく映像と、が同期された状態で前記データを記録する、請求項1乃至10および17乃至20のいずれかに記載の録画装置。

【請求項24】

コンピュータを、

所定のコンテンツを再生するための第1信号を受信する第1手段と、

前記第1信号に基づいて、前記所定のコンテンツを再生するための第2信号を生成する第2手段と、

前記第2信号に基づいて、前記所定のコンテンツを再生するためのデータを記録媒体に記録する第3手段と、を備え、

前記第1信号は、互いに異なる伝送経路で受信される信号どうしを同期するために用いられる制御情報を含んでおり、

前記第2信号は、前記制御情報の少なくとも一部を含まない、録画プログラム。

【請求項25】

所定のコンテンツを再生するための第1信号を受信し、

前記第1信号に基づいて、前記所定のコンテンツを再生するための第2信号を生成し、

前記第2信号に基づいて、前記所定のコンテンツを再生するためのデータを記録媒体に記録し、

前記第1信号は、互いに異なる伝送経路で受信される信号どうしを同期するために用いられる制御情報を含んでおり、

前記第2信号は、前記制御情報の少なくとも一部を含まない、録画方法。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0002

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0002】

「MPEG-H MMT」が新たなスタンダードとなる可能性がある。

【手続補正3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0004

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0004】

コンテンツを再生できるよう録画を行うこと、とりわけ効率よく録画を行うことを1つの目的とする。